

韓国・済州島(チェジュド)出張報告

群馬大学 電子情報部門 小林研究室 D2 李 从兵(リ ツオンビン LI CONGBING)

【渡航期間】

2014/11/02～2014/11/05

【報告内容】

ISOCC2014 は Jeju, Korea で行われた集積回路研究会です。主要研究分野は Analog and Mixed-Signal Techniques, Digital Circuits and VLSI Architectures, Power Electronics/Energy Harvesting Circuits, and Emerging technology などです。多様な分野の研究者の方と交流することが良いと感じました。それぞれの研究分野も理解できるし、色々な最新の技術情報も収集できるし、とても良い機会だと思いました。

自分は、Analog and Mixed-Signal Techniques 分野で第一著者として学術論文『Time-to-Digital Converter Architecture with Residue Arithmetic and its FPGA Implementation』を発表しました。他の研究者に色々な角度から私の研究も見えていただくこともできました。今まで自分が気づかなかった点を発見し、気づかされました。これらのアドバイスを受けし、色々な情報を活用し、自分の研究能力を向上させます。また、色々な研究者と友達になって、メールで交流を引き続くこともあります。

学会で、自転車識別 (ITS 画像処理) や Internet of Things や時間-デジタル変換器など電子機器の原型機も展示されておりました。エレクトロニクス実装技術の動向も理解できました。これから、収集した情報を活用し、視野を広げ研究能力を向上させたいです。

今回の学会で、英語で研究発表をするという状況が普通です。このため、自分の英語表現力を向上しなければなりません。これからは自分の英語の口頭表現力・コミュニケーション力を向上させると考えています。

来年は、まだ第一著者として学術論文を発表するつもりです。これから、早めに成果を出すために、もっと頑張ります。



国際会議 ISOCC に参加



国際会議 ISOCC に参加



国際会議 ISOCC で発表



国際会議 ISOCC で発表



韓国料理（海鮮鍋）



チェジュド中心部